

2016(平成28)年度事業報告書

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

1. 総 括

1. 1 総 会

一般社団法人日本バルブ工業会の第4回通常総会は、定款の定めるところにより、2016年6月に開催した。

◎一般社団法人日本バルブ工業会の第4回通常総会

1. 日 時 2016年6月10日(金) 13:30~14:45
2. 場 所 ザ・リッツ・カールトン大阪
3. 構成員の数 115名
4. 出席構成員数 93名(本人出席:50名、委任状出席:43名)
5. 来賓その他 6名
6. 議 案

- 第1号議案 2015(平成27)年度事業報告の件
- 第2号議案 2015(平成27)年度決算報告の件
- 第3号議案 2016(平成28)年度事業計画案承認の件
- 第4号議案 2016(平成28)年度収支予算案承認の件

7. 議事概要

出席者全員異議なく、全議案を承認した。

8. 関連行事

①2015(平成27)年度J V賞受賞者の表彰

受賞者:大塚 一弘 氏((株)昌立製作所 常務執行役員 技術部長)

②叙勲受章者の表彰(当会推薦)

受章者:旭日中綬章[2015(平成27)年秋]

大山 忠一 氏(元・当工業会会長 光陽産業(株)代表取締役社長)

③褒章及び叙勲受章者報告(正会員)

・黄綬褒章[2015(平成27)年秋]

中北 健一 氏(株)中北製作所 代表取締役社長

・旭日双光章[2016(平成28)年春]

小川 洋史 氏(株)フジキン 代表取締役会長 兼 CEO

④記念講演会

テーマ:「国産ジェット旅客機MR Jを世界の空に」

講 師: 栞谷 啓介 氏(三菱航空機(株)経営企画室長)

⑤集合写真撮影

⑥懇親会

1. 2 理事会 構成員数 6名

本理事会は、定款の規定に基づき理事(会長、副会長及び専務理事の計6名)で構成された組織であり、本会の運営及び事業活動に関する重要事項について業務執行の決定を行う。

2016年度は、定例4回開催し、本会運営上の重要事項について検討を行うとともに基本方針等について審議した。その概要は、次のとおりである。

[第13回]

2016年5月24日（火） 機械振興会館 出席者 7名

- (1) 2015(平成27)年度決算報告及び事業報告承認について
- (2) 2016(平成28)年度予算案（最終案）承認について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書承認について
- (4) 会員企業の退会承認について
 - ・正会員：ジャニス工業（株）(H28.4.1付)
 - ・賛助会員：新生鋳造（株）(H28.4.1付)
- (5) 諮問委員の交代承認について
- (6) ISO/TC153国際会議日本開催について
- (7) 第4回通常総会提出議案の最終確認について
- (8) 監事からの意見について
- (9) その他
 - ①運営委員会審議について
 - ②次期専務理事候補者の出向について

[第14回]

2016年7月20日（水） 機械振興会館 出席者 9名

- (1) 第4回通常総会収支報告承認について
- (2) 2016(平成28)年度会計監査業務委託承認について
- (3) 次世代育成研修開催(案)について
- (4) 工業会組織見直しについて
- (5) 第5回通常総会開催場所・日程等について
- (6) その他
 - ①2016年度若手社員研修会開催概要報告について
 - ②2016年度広報活動・バルブ産業ビジョン総括等について
 - ③寄付金の処理について
 - ④東京支部・近畿支部合同役員会行事について
 - ⑤新認定事業所制度（三ツ星認定制度）について

[第15回]

2016年10月18日（火） 機械振興会館 出席者 9名

- (1) 新年賀詞交歓会開催計画（案）承認について
- (2) 第5回通常総会開催要領（案）承認について
- (3) 若手社員研修会収支報告承認について
- (4) 2016年度中間（4月～9月）決算報告・事業報告について
- (5) 当工業会組織改正・予算配分方法等について
- (6) 産業別高齢者雇用推進事業進捗状況について
- (7) 環境配慮バルブ登録制度運用開始について
- (8) 当会の広報活動について
- (9) その他
 - ①ISO/TC153国際会議日本開催について
 - ②次世代リーダー育成研修について

[第16回]

2017年3月22日（水） 機械振興会館 出席者 8名

- (1) 新年賀詞交歓会収支報告承認について
- (2) 2016年度J V賞受賞者承認について（受賞者：(株)フジキン 中村 浩一 氏）
- (3) 会員の退会及び種別変更承認について
 - ・退会（賛助会員）：(株)エーアンドエーマテリアル(H29.4.1付)
 - ・種別変更（賛助会員⇒正会員）：ハンスグローエジャパン(株)(H29.4.1付)
- (4) 会員の支部移行及び支部運営規程改正承認について
 - ・(株)ヨシタケの支部移行：東海支部⇒東京支部(H29.4.1付)
- (5) 次期工業会役員候補者承認について
- (6) 2017年度事業計画(案)・予算(案)、2016年度決算見込み並びに関係規程類の見直し・制定承認について
- (7) 2017年度理事会及び運営会議開催日程(案)承認について
- (8) 常勤役員に係る規程改正承認について
- (9) 2017年度事務局役職員給与・賞与支給(案)承認について
- (10) 専務理事退職慰労金支給(案)承認について
- (11) その他

1. 3 諮問会議 構成員数 29名

本諮問会議は、定款の規定に基づき、「理事会」の諮問機関として各支部からの代表委員で構成され、本会の運営及び事業活動に関する重要事項について審議を行う組織である。

2016年度の諮問会議は、本会事業の推進上重要な問題等についての会議を2回開催した。

会議の開催概要は、次のとおりである。

[第9回]

2016年10月18日（火） 機械振興会館 出席者 36名

- (1) 新年賀詞交歓会開催計画(案)について
- (2) 第5回通常総会開催要領(案)について
- (3) 若手社員研修会収支報告について
- (4) 2016年度中間(4月～9月)決算報告・事業報告について
- (5) 当工業会組織改正・予算配分方法等について
- (6) 産業別高齢者雇用推進事業進捗状況について
- (7) 環境配慮バルブ登録制度運用開始について
- (8) 当会の広報活動について
- (9) その他
 - ①ISO/TC153国際会議日本開催について
 - ②次世代リーダー育成研修について
 - ③その他

[第10回]

2017年3月22日（水） 機械振興会館 出席者 37名

- (1) 新年賀詞交歓会収支報告について
- (2) 2016年度J V賞受賞者について
- (3) 2016年度産業別高齢者雇用推進事業報告について

- (4) 会員の退会及び種別変更について
 - ・退会（賛助会員）：(株)エーアンドエーマテリアル(H29. 4. 1付)
 - ・種別変更（賛助会員⇒正会員）：ハンスグローエジャパン(株) (H29. 4. 1付)
- (5) 会員の支部移行及び支部運営規程改正について
 - ・(株) ヨシタケの支部移行：東海支部⇒東京支部 (H29. 4. 1付)
- (6) 次期工業会役員候補者の選出について
- (7) 2017年度事業計画(案)・予算(案)、2016年度決算見込み並びに関係規程類の見直し・制定について
- (8) 第6回バルブフォト五七五コンテスト入賞作品について
- (9) その他
 - ①新設「運営会議」について
 - ②コンプライアンスの徹底について
 - ③バルブ産業ビジョン完了報告について

1. 4 運営委員会 構成員数 14名

本委員会は、本会理事、3部会長、技術委員長、ビジョン委員長、広報委員長、国際委員長、各支部代表で構成される機関で、2005(平成17)年度に開催された後、しばらく活動を停止していたが、①本会の事業内容及び組織の見直し、②予算配分の見直し、③会議運営方法等の見直しを主たる目的として、2015(平成27)年度から活動を再開し、組織の見直し、予算配分方法、関係規程類の見直し等を行った。なお、本委員会は、組織の見直しのよって、本年度をもって解散した。

2016年度の会議の開催状況は、次のとおりである。

第5回	2016年4月11日(月)	機械振興会館	出席者	15名
第6回	2016年5月24日(火)	機械振興会館	出席者	15名
第7回	2016年7月20日(水)	機械振興会館	出席者	18名
第8回	2016年10月18日(火)	機械振興会館	出席者	16名

1. 5 J V 賞選考委員会 構成員数 9名

本委員会は、本会に寄せられた寄付金を基金とし、その運用益をもって表彰する「J V 賞」受賞者を選考するために設けられた機関である。

2016年度 J V 賞受賞者については、(株)フジキン 中村 浩一 氏を選出、理事会に答申することとした。

なお、選にもれた((株)キッツ 真田 寿美夫氏、(株)タブチ 大谷 泰重氏については、工業会事業活動における長年の功績に対し、特例として「功労者表彰」を設け、感謝状を授与する旨理事会に提案した。

2016年度の会議の開催は、次のとおりである。

2017年3月22日(水)	機械振興会館	出席者	9名
---------------	--------	-----	----

2. バルブの生産、流通、貿易、及び消費に関する調査

2. 1 バルブの生産、流通、貿易等の調査

調査統計のうち生産(鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計)、輸出入(貿易統計)については、毎月本会のウェブサイトに掲載し会員等に報告した。

また、年1回本会正会員を対象に調査を行って集計分析するとともに、関連する統計資料類を加えてバルブ工業概況調査報告書として取りまとめ、2016年9月に全会員に送付し

た。

諸調査の概要は、次のとおりである。

- ・生産状況：規模別、品種別に分類した過去10年間の推移
- ・生産シェア：品種別の上位企業群の生産推移
- ・用途別生産状況：主要な用途別に分類した過去5年間の生産状況
- ・貿易の動向：過去5年間の主要な国別、地域別及び品種別の輸出、輸入状況

2. 2 自主統計について

手動弁・自動弁の受注統計及び給水栓の出荷統計を取りまとめ、集計結果を定期的に各企業の統計担当者へメール配信した。なお、手動弁・自動弁の受注統計については、2016年12月集計分をもって終了した。

3. 経営及び技術に関する調査

3. 1 専門分野別経営及び技術に関する施策の推進

(1) バルブ部会 構成員数 65社

①工業用分科会 電力弁グループ：13社

鋳鍛鋼弁グループ/ステンレス弁・ボール弁グループ：21社

②建築用分科会：8社

③産業用分科会：13社

④船用分科会：8社

2016年度は、工業用、建築用、産業用、船用の4分科会における各専門事項に関する協議と並行し、2017年度からの部会組織の変更について協議した。その結果、2017年度からは、工業用分科会鋳鍛鋼弁G/ステンレス弁・ボール弁Gが「工業用分科会」として、電力弁Gが「電力用分科会」として新たに活動を開始することを決定するとともに、本部会傘下組織としての産業用分科会は廃止することとした（同分科会は今後、滋賀バルブ協同組合内の組織として活動を継続する）。

その他、例年に続き、本会の関連委員会（運営委員会、技術委員会、広報委員会、環境WG）へ部会代表委員を派遣し、それぞれの会議で入手した情報を部会員に提供するとともに、部会意見の反映に努めた。

2016年度における部会関係会議の開催状況等は、次のとおりである。

◎幹事会

2016年7月1日（金） 機械振興会館 出席者 15名

2017年2月13日（月） 機械振興会館 9名

◎部会

2016年7月1日（金） 機械振興会館 出席者 22名

2016年10月22日（土） 松島センチュリーホテル 14名

2017年3月24日（金） 大阪新阪急ホテル 出席者 23名

○見学会

期 日：2016年10月21日（金）

見学先：東北電力(株)女川発電所

参加者：22名

◎工業用分科会

2016年度は、グループ毎の活動を主体に、原発停止後の電力動向、海外の需要動向、水素等の新エネルギー対策等について審議した。

○電力弁G会議

電力弁に関する国内外の需要動向の調査・検討等を中心に審議を行った。

2016年6月16日（木）	機械振興会館	出席者	12名
2016年9月15日（木）	機械振興会館		7名
2016年12月15日（木）	機械振興会館		9名
2017年3月16日（木）	筑波山ホテル青木屋（茨城県つくば市）		8名

・見学会

2017年3月16日（木）	つくば宇宙センター、高エネルギー加速器研究機構	参加者	16名
---------------	-------------------------	-----	-----

○鑄鍛鋼弁G・ステンレス弁・ボール弁G合同会議

2016年度は合同会議として開催し、需要動向と新エネルギー技術開発について審議した。

2016年5月27日（金）	大阪鐵鋼会館	出席者	8名
2016年8月19日（金）	機械振興会館		6名
2016年11月18日（金）	大阪鐵鋼会館		6名
2017年2月17日（金）	機械振興会館		9名

◎建築用分科会

建築用分科会では、関東・関西の建築市場動向分析を中心に審議を行った。

2016年5月19日（木）	機械振興会館	出席者	10名
2016年7月20日（水）	大阪鐵鋼会館		12名
2016年11月24日（木）	大阪鐵鋼会館		14名
2017年2月2日（木）	機械振興会館		12名

・研修会

2016年9月30日（金）	アサヒビール神奈川工場見学	参加者	11名
---------------	---------------	-----	-----

◎船用分科会

関西船用弁工業会と合同で、(一財)日本船舶技術研究協会、国土交通省等、関係業界団体・省庁と関連事項について情報交換を行った。

2016年4月15日（金）	彦根キャッスルリゾート&スパ	出席者	13名
2016年8月4日（木）	みずず精工(株)信州工場		13名
2016年12月2日（金）	メルパルク大阪		14名

◎産業用分科会

彦根地区会員で構成する産業用、水道用及び船用の3グループ合同で経営対策、市場状況、技術情報の意見交換を行った。

○グループ合同会議

2016年5月13日（金）	彦根支部会議室	出席者	13名
2016年7月28日（木）	彦根支部会議室		11名
2016年12月9日（金）	やす井		11名
2017年1月26日（木）	彦根支部会議室		11名

(2) 自動弁部会 構成員数 33社

2016年度は部会を3回開催したほか、主に若手技術者を対象とした見学会「若手半日ショップツアー」を2回実施した。このツアーは、技術に関する見聞を広めること、及び、企業の枠を越えたネットワーク作りを主眼として開催しているもので、他部会員企業の参加も受け入れている。

その他、本会の関連委員会（運営委員会、技術委員会、広報委員会、環境WG）への部会代表委員派遣を行い、これら委員会審議への部会意見の反映に努めるとともに、IEC規格のJIS化促進、若手社員研修会への部会講師派遣を行った。

2016年度の部会関係会議の開催状況は、次のとおりである。

◎幹事会

2016年7月13日（水） 大阪新阪急ホテル 出席者 9名

◎部会

2016年7月13日（水） 大阪新阪急ホテル 出席者 18名

2016年11月3日（木） 函館国際ホテル 9名

2017年3月8日（水） 機械振興会館 19名

○見学会

期 日：2016年11月4日（金）

見学先：北海道ガス(株)函館みなと工場

参加者：9名

○若手半日ショップツアー

①期 日：2016年6月17日（金）

見学先：(株)荏原製作所 藤沢事業所（神奈川県藤沢市）

参加者：29名

②期 日：2017年3月22日（水）

見学先：(株)ベンカン MJ工場（群馬県太田市）

参加者：14名

(3) 水栓部会 構成員数 30社（給水栓分科会16社、止水栓分科会14社）

2016年度は、4回の部会開催及び見学会の開催、また、定期的に各小委員会及びWGを開催して次の事項を中心に積極的な活動を展開した。

①厚労省・給水装置の構造材質規準の見直し検討会への参画・意見発信

②建築物省エネ法における節湯水栓基準（節湯A1：手元止水機構／節湯B1：小流量吐水機構／節湯C1：水優先吐水機構）の動向把握

③節湯水栓基準の規定化を主としたJIS B 2061（給水栓）の改正作業および浄水器など水栓関連機器のJIS化動向の把握。

④水栓類に関する安全関連ガイドラインの改正検討、凍結・やけど等防止の啓発、及び水栓関連情報の整理とウェブサイトのコンテンツ見直し及び情報発信

⑤ニッケルを主とする水栓の材質に関する国内外の規格・規制の動向調査及び海外製水栓の材料調査

⑥バルブ産業ビジョンの実践に向けての関連事項の検討

⑦関連省庁・団体との情報共有及び関連委員会への業界代表委員の派遣

（経済産業省／国土交通省／厚生労働省／環境省／日本水道協会／管工機材商業協同組合／給水工事技術振興財団／全国管工事業協同組合連合会／リビングアメニティ協会／キッチン・バス工業会／日本レ

ストルーム工業会（巧水（たくみ）スタイル推進チーム）／ベターリビング／長期使用住宅部材標準化推進協議会／浄水器協会／日本建材・住宅設備産業協会／建築環境・省エネルギー機構）

⑧住宅ストック循環支援事業など関連省庁の施策への協力

⑨キッチン・バス工業会主催の川柳募集における協賛（日本バルブ工業会賞の表彰）

⑩本会関係会議（技術委員会、広報委員会）への部会代表委員の派遣。若手社員研修会への講師の派遣及びテキストの作成

なお、6月の見学会においては、懇親会及び懇親ゴルフ大会を実施し、会員相互の親睦を深めるとともに結束の強化に努めた。

2016年度における部会関係会議の活動概要及び開催状況は、次のとおりである。

◎部 会

2016年4月20日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者	30名
2016年7月14日（木）	機械振興会館		19名
2016年10月19日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		25名
2017年2月15日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		21名

◎幹事会

2016年4月20日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者	10名
2016年7月14日（木）	機械振興会館		8名
2017年2月15日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		8名

◎給水栓分科会

2016年4月20日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者	19名
2016年7月14日（木）	機械振興会館		15名
2017年2月15日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		14名

◎止水栓分科会

2016年4月20日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者	11名
2016年7月14日（木）	機械振興会館		4名
2017年2月15日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		7名

○給水栓標準化小委員会

次の内容を中心に審議を行った。

- ・省エネ法において既に基準化されている節湯水栓基準（節湯A1：手元止水機構／節湯B1：小流量吐水機構／節湯C1：水優先吐水機構）の規定追加を主としたJIS B 2061（給水栓）の改正素案作成
- ・新たな長住協基準の検討のための同協会との情報交換会
- ・厚労省 給水装置の構造材質基準見直し検討会への参画と基準検討
- ・住宅ストック循環支援事業のスキーム確立及び運用における関連省庁との協力
- ・国交省公共建築工事標準仕様書、浄水器JISなど関連省庁・団体の法基準の検討
- ・関連団体からの検討依頼事項への対応

2016年度の会議開催状況は、次のとおりである。

第248回	2016年4月21日（木）	機械振興会館	出席者	11名
第249回	2016年5月31日（火）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		14名
第250回	2016年6月28日（火）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		11名
第251回	2016年7月26日（火）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		13名
第252回	2016年9月30日（金）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		10名
第253回	2016年10月18日（火）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		12名
第254回	2016年11月30日（水）	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		13名

第255回	2016年12月22日 (木)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	14名
第256回	2017年1月31日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	13名
第257回	2017年2月28日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	10名
第258回	2017年3月31日 (金)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	11名

○止分水栓標準化小委員会

2016年度は委員会を開催していないが、若手社員研修会への講師派遣および技術委員会への委員派遣など、工業会の関連委員会及び施策に協力した。

○保証小委員会

一般消費者向け水栓類の安全使用に関するウェブサイト掲載内容の見直し、水栓金具の維持管理に関する広報活動、各種ガイドライン・実施要領等の見直し、事故情報の共有化、水栓に関する冊子作成の検討を中心に審議を行った。

2016年度の会議開催状況は、次のとおりである。

第115回	2016年5月17日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者 9名
第116回	2016年7月12日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	7名
第117回	2016年9月13日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	5名
第118回	2016年11月16日 (水)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	6名
第119回	2017年1月24日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	7名
第120回	2017年3月14日 (火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	7名

○技術小委員会

海外の水質・水栓に関する規格・規制の動向調査及びニッケルの水質基準化に関する関連省庁からの情報収集、基準に対応する材料・生産方法の検討、海外水栓の材質・構造調査などを中心に検討を行なった。

2016年度の会議開催状況は、次のとおりである。

第113回	2016年4月6日 (水)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者 12名
第114回	2016年5月18日 (水)	機械振興会館	14名
第115回	2016年6月23日 (木)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	14名
第116回	2016年8月1日 (月)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	14名
第117回	2016年9月16日 (金)	機械振興会館	13名
第118回	2016年10月25日 (火)	機械振興会館	18名
第119回	2016年12月2日 (金)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	14名
第120回	2017年1月16日 (月)	機械振興会館	16名
第121回	2017年3月2日 (木)	機械振興会館	14名

○節湯WG

2016年度はWGを開催していないが、建築物省エネ法の動向把握のため、同法における給湯基準を策定する給湯・コジェネSWGの会合に主査及び委員が出席して情報収集を行い、節湯水栓基準の見直し動向の把握、工業会の意見発信・情報共有を行った。

○見学会・活動報告会

期 日：2016年6月3日 (金)

場 所：北海道千歳市

見学先：キリンビール(株)北海道千歳工場

参加者：13名

3. 2 バルブ産業ビジョンの活動完了

ビジョン、技術、広報各委員会において、第3期計画に沿ったアクションプランをそれぞれ実践するとともに、2016年度は『バルブ産業ビジョン』の活動計画最終年度であったため、過去10年の活動を総括した完了報告を取りまとめ、ウェブサイトに掲載した。これに伴い、ビジョン委員会は2016年度をもって解散することとしたが、技術委員会、広報委員会は存続し、2017年度新設の運営会議、研修委員会、安全環境委員会等とともに次期中長期活動計画「V2020」に取り組む方針を定めた。

(1) ビジョン委員会 構成員数 9名

技術委員会、広報委員会によるアクションプランの推進を統括し、本委員会担当プランに係る事業として「次世代育成研修」を企画・開催した。また、2017年度からの中長期活動計画「V2020」策定のための関係委員会合同会議を開催した。

2016年度の会議開催は、次のとおりである。

2016年6月22日(水)	機械振興会館	出席者	6名
2016年9月7日(水)	機械振興会館		4名

○ビジョン合同会議 構成員数 4名

ビジョン・技術・広報各委員会の委員とバルブ・自動弁・水栓の各部長、副部長で構成し、バルブ産業ビジョンの総括、及び、「V2020」の方向性検討を目的に、次のとおり開催した。

2016年12月8日(木)	機械振興会館	出席者	20名
---------------	--------	-----	-----

(2) 広報委員会 構成員数 11名

展示会への出展、「第6回バルブフォト五七五コンテスト」の開催、バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」のグッズ制作(組立式ミニフィギュア)をそれぞれ実施したほか、今後の広報活動を進めるためのヒントを探るべく、バルブ産業のPRを兼ねて、滋賀県立大学院生との意見交換会を開催した。

- ①「第31回管工機材・設備総合展」(2016年10月6日～8日、於・名古屋)出展
- ②「第6回バルブフォト五七五コンテスト」(応募総数：191名387作品、2017年3月に本会ウェブサイトで入賞作品を紹介)
- ③滋賀県立大学・日本バルブ工業会交流会(2016年10月28日、於・滋賀県立大学、参加者：大学院生11名、広報委員会及び関係者7名)

2016年度の会議開催は、次のとおりである。

2016年4月6日(水)	機械振興会館	出席者	7名
2016年6月8日(水)	機械振興会館		11名
2016年8月3日(水)	機械振興会館		9名
2016年10月28日(金)	機械振興会館		6名
2016年12月7日(水)	機械振興会館		8名
2017年2月16日(木)	機械振興会館		10名

○展示会タスクチーム 構成員数 4名

上記展示会に係る展示内容等について審議した。2016年度の会議開催状況は次のとおりである。

2016年4月12日(火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング	出席者	4名
2016年6月14日(火)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		4名
2016年8月31日(水)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		4名
2017年3月17日(金)	東京：TOTO(株) 汐留ビルディング		4名

3. 3 バルブ製造業高齢者雇用推進事業

本事業は、2015(平成27)年度・2016(平成28)年度の2年間の事業として、(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構より、「産業別高齢者雇用推進事業」の委託を受け、バルブ製造業における高齢者雇用推進に関する会員企業のアンケート調査・ヒアリング調査を実施し、その調査結果を基に、高齢者がより長く活躍し続けられるような仕組み等を考え、ガイドラインとして取りまとめるとともに、会員企業の経営者及び従業員に対して普及啓発に努めるものである。

2016年度は、委員会を4回開催し、前年のアンケート調査及びヒアリング調査等を基に、事業主向けのガイドブックと従業員向けのリーフレットを作成・会員企業に配布した。

また、ガイドブック及びリーフレットを活用した、普及啓発セミナーを2回開催した。

2016年度における委員会の開催状況等は、次のとおりである。

○委員会

2016年5月19日(木)	機械振興会館	出席者	13名
2016年7月6日(水)	機械振興会館		14名
2016年7月26日(火)	機械振興会館		11名
2017年2月1日(水)	機械振興会館		14名

○セミナー

2016年10月13日(木)	銀行倶楽部	参加者	28名
2017年1月20日(金)	大阪新阪急ホテル		18名

4. バルブの品質及び性能に関する規格及び基準の策定並びに普及

4. 1 技術委員会 構成員数 10名

2016年度は、『バルブ産業ビジョン追補版』第3期計画の推進、バルブ関連JIS及び国際規格改正状況の情報共有・検討、若手社員研修会の実施要領の策定、技術研修会の開催、バルブ便覧の改訂に向けた検討、関連施設の視察等を中心に活動を行った。

2016年度における会議開催状況は、次のとおりである。

2016年6月9日(木)	機械振興会館	出席者	9名
2016年9月15日(木)	機械振興会館		10名
2016年12月15日(木)	機械振興会館		9名
2017年2月18日(土)	名古屋：安部ホール		9名

○環境WG 構成員数 11名

2016年11月末に本会独自の環境ラベル制度である「環境配慮バルブ登録制度」の運用を開始し、2017年1月からは登録製品の検索サービスを開始した。本制度の開始にあたっては、会員の理解促進のため、2016年10月に説明会(部会会議との併催含め計4回)を開催した。

その他の事業としては、ウェブサイトで環境関連情報を発信したほか、化学物質管理をテーマとしたセミナーを開催した。

2016年度における会議開催状況は、次のとおりである。

2016年5月12日(木)	機械振興会館	出席者	9名
2016年7月21日(木)	機械振興会館		7名
2016年9月14日(水)	機械振興会館		10名
2016年11月16日(水)	機械振興会館		9名
2017年1月12日(木)	機械振興会館		8名
2017年3月16日(木)	機械振興会館		6名

○環境セミナー

期 日：2016年6月21日（火）

参加者：28名

場 所：機械振興会館

①テーマ：「経産省主導の製品含有化学物質情報伝達共通スキーム“chemSHERPA”
（ケムシェルパ）」

講 師：宇佐美 亮 氏、菊池 英明 氏

（一社）産業環境管理協会 アーティクルマネジメント推進協議会

②テーマ：「化学物質管理（ラベル・SDSとリスクアセスメント）」

講 師：吉原 豊 氏（環境WG委員）

（株）フジキン 革新実戦技術部 実戦設計管理課 主事

③テーマ：「REACH, EU RoHS, 中国版RoHSの最新動向」

講 師：浅井 修 氏（環境WG主査）

（株）キッツ バルブ事業統括本部 プロジェクト統括部
プロジェクト営業部 調節弁営業所

○環境配慮バルブ登録制度説明会

期 日：大阪＝2016年10月17日（月）、東京＝2016年10月20日（木）

参加者：大阪＝27名、東京＝18名

場 所：大阪＝貸し会議室大阪研修センター江坂、東京＝機械振興会館

講 師：浅井 修 氏（環境WG主査）

○バルブ学会（仮称）設立準備WG 構成員数 3名

2013年度～2015年度にかけ会議開催、研究者訪問、外部識者との意見交換など旺盛な活動を行ったが、本会事業としての学会・研究会等設立は困難である見通しから、2016年度をもって活動を終了した。2016年度はメールによる審議を行ったのみで、会議開催はない。

4. 2 新技術研究開発プロジェクト

2016年度は、「ディスク式安全弁の放出挙動に関する研究」の研究開発を推進した。

○ディスク式安全弁の放出挙動に関する研究 [完了]

安全弁や逃し弁の放出流量は、ノズル内の絞りや、ディスクと弁座に挟まれた絞りによって制限される。これらの絞りでの流れは、最小流路を形成する縮流現象、膨張遅れや熱的非平衡に大きく影響される。実際の安全弁ノズルには、全開時流量制御のため絞り部を設けてあり、このノズル絞り部がディスクとの間の絞り部での縮流係数に影響を与える。さらに圧縮性流体では、臨界流になると縮流部が消失することも示された。このため、微開時も含めた詳細な放出挙動を、ノズル内部絞りを可変なディスク式絞り機構を用いて実験的に明らかにし、正確な物理モデルの構築を行うためプロジェクトを実施した。これにより、より複雑な弁形状での現象理解や設計手法もさらに進展することが期待される。このプロジェクトは2016年度で終了となり、この調査結果についてはバルブ技報No.78（2017年3月末発刊）に報告書として原稿を寄稿した。

4. 3 バルブ技報編集委員会 構成員数 9名

2016年度は『バルブ技報』通巻第77号と78号を発行し、会員・関係官庁・諸団体・需要者及び一般購読者に各号約650部ずつ頒布した。第77号では前号からの引き続きの特集として「水素」をテーマとし、第78号では工業会の「新技術研究開発プロジェクト」及び「標

準化の取り組み」を特集テーマとした。これら特集では水素に関する技術と市場動向及び工業会が現在までに取り組んできた新技術研究開発プロジェクト及び標準化事業について情報提供を行った。

2016年度における会議開催状況は、次のとおりである。

2016年5月27日（金）	機械振興会館	出席者	5名
2016年8月26日（金）	機械振興会館		5名
2016年11月25日（金）	機械振興会館		7名
2017年3月17日（金）	機械振興会館		4名

4. 4 工業プロセス用調節弁JIS原案作成委員会 構成員数 17名

すでに発行されている工業プロセス用調節弁の国際規格IEC 60534シリーズ全18規格とJISとの整合化を図るため、WGにおいて対応JISであるJIS B 2005シリーズの原案作成審議を行った。同シリーズのうち、2016年度はJIS B 2005-2-1（取付け状態における流れのサイジング式）、JIS B 2005-2-4（固有流量特性及びレンジアビリティ）、JIS B 2005-7（調節弁データシート）の改正原案作成作業を推進した。

2016年度における会議開催状況は、次のとおりである。

○工業プロセス用調節弁JIS原案作成委員会

2016年12月20日（火）	機械振興会館	出席者	13名
----------------	--------	-----	-----

○調節弁規格作成委員会WG会議

2016年4月12日（火）	機械振興会館	出席者	6名
2016年6月22日（水）	機械振興会館		6名
2016年8月2日（火）	機械振興会館		7名
2016年9月26日（月）	機械振興会館		6名
2016年11月9日（水）	機械振興会館		6名
2016年12月13日（火）	機械振興会館		5名

4. 5 ISO 4126-9 JIS原案作成委員会 構成員数 23名

ISO 4126-9:2008(Application and installation of safety devices excluding stand-alone bursting disc safety devices/安全装置の選定及び取付け)のJIS化を目的とする委員会であり、本委員会と分科会で構成している。本JISは、ISOの技術的内容を一部修正したものとなる予定である。2016年度は、1回の本委員会及び複数回の分科会を開催し、書面審議と併せてJIS原案作成作業を推進した。

2016年度における本委員会の会議開催状況は、次のとおりである。

2016年7月5日（火）	機械振興会館	出席者	22名
--------------	--------	-----	-----

5. バルブに係る法令の普及、行政施策の実施に関する協力

5. 1 行政施策に関する要請及び協力

経済産業省、国土交通省、厚生労働省、環境省等、関係諸官庁との連絡折衝を密にし、バルブ製造業に関連する各種施策に対して資料の提供等により意見の具申を行うとともに、その普及に協力した。

その他関係省庁・業界団体における規格、基準等に対する業界意見の具申等を行った。

6. 国際標準化に関する事業

バルブの国際標準化については、2016年度もISO/TC153（バルブの設計・製造・表示・試験・アクチュエータとその取付け）、ISO/TC185（超過圧力に対する保護用安全機器）及びIEC/TC65/SC65B/WG9（工業プロセス用調節弁）において活発な討議が行われ、すべての国際規格原案に対し投票及び意見の提出を行うとともに、国際会議へ代表者を派遣し、バルブの国際標準化に大きく貢献した。また、国際規格のJIS化についても関係委員会と協力しながら検討を行なった。なお、ISO/TC153及び傘下のWGについては、2016年10月11日（火）から14日（金）にかけて日本をホスト国として東京で国際会議を開催した。この国際会議については、バルブ技報No.78（2017年3月末発刊）に報告書として原稿を寄稿した。

6. 1 国内会議

(1) ISO/TC153国内対策委員会

○ISO/TC153国内対策委員会 構成員数 22名

2016年度は次の国際規格について審議・国際投票を行うとともに、国際会議へ委員を派遣し、日本意見の発信を行った。また、TC153及びWGの国際会議については、2016年10月11日（火）から14日（金）にかけて東京で開催することとなり、ホスト国としての会議準備・運営を行った。

- ISO DIS^{a)}/FDIS^{b)} 5210 Industrial valves - Multi-turn valve actuator attachments
- ISO DIS/FDIS 5211 Industrial valves - Part-turn actuator attachments
- ISO FDIS 6553 Automatic steam traps - Marking
- ISO DIS/FDIS 19240 Industrial valves - Lined metal quarter turn and check valves for chemical process and related industries
- ISO 15848-1 Amd Industrial valves - Lined metal quarter turn and check valves for chemical process and related industries
- ISO NWIP^{c)} 22153 Electric actuators for industrial valves - General requirements

注^{a)}: DIS=Draft International Standard=国際規格原案

注^{b)}: FDIS=Final Draft International Standard=最終国際規格原案

注^{c)}: NWIP=New Work Item Proposal=新規作業項目提案

2016年度の国内委員会開催状況は、次のとおりである。

2016年6月29日（水）	機械振興会館	出席者	11名
2016年10月26日（水）	機械振興会館		16名

(2) ISO/TC185対策委員会 構成員数 18名

2016年度はISO 4126 シリーズについて審議・国際投票を行い、ISO 4126-9 [安全装置の選定及び取付け] について、JIS化のために分科会及び原案作成委員会を開催し規格の検討を行なった。また、関連規格・技術動向について委員会内で勉強会を開催し、情報共有を図った。

2016年度の国内委員会開催状況は、次のとおりである。

2016年5月26日（木）	神奈川県：千代田化工建設（株）	出席者	14名
2016年10月26日（水）	機械振興会館	出席者	16名

(3) IEC委員会 構成員数 9名

2016年度は、IEC 60534シリーズについて審議・国際投票を行うとともに、JWG17が担当するIEC 61987 シリーズ（Data structures and elements in process equipment catalogues）の調節弁に関する規格進捗について情報共有を行った。また、調節弁規格作成委員会WGと連携してIEC 60534シリーズに対応するJIS B 2005シリーズのうちJIS B 2005-2-

1 (取付け状態における流れのサイジング式)、JIS B 2005-2-4 (固有流量特性及びレンジアビリティ)、JIS B 2005-7 (調節弁データシート) のJIS化作業を推進した。

2016年度の国内委員会開催状況は、次のとおりである。

2016年4月12日 (火)	機械振興会館	出席者	6名
2016年6月22日 (水)	機械振興会館		6名
2016年8月2日 (火)	機械振興会館		7名
2016年9月26日 (月)	機械振興会館		6名
2016年11月9日 (水)	機械振興会館		6名
2016年12月13日 (火)	機械振興会館		5名

6. 2 国際会議

(1) ISO/TC153 Plenary Meeting and WG Meetings 東京国際会議

開催地：日本 (東京 機械振興会館)

期 間：2016年10月11日 (火) ～14日 (金)

※詳細は次のとおり

日にち	時間	内容	参加国(出席者数)	日本の出席者(出席者数)
10/11 (火)	09:00～ 15:00	WG7	幹事国: France(1) 出席国: China(6)、Japan(7)、Korea(5)、 Norway(1)、UK(1)、USA(2) 計23名	昌立製作所(1)、日本ダイヤバルブ(1)、日立バルブ(1)、平田バルブ工業(1)、ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(2)、事務局(1) 計7名
		Meeting	議事概要: 幹事国のスイスが欠席のためフランスが幹事を代行した。ISO/DIS 19240(Lined metal quarter turn and check valves for chemical process and related industries: 金属製クォーターターンライニングバルブ)のDIS(規格ドラフト)に対して各国が提出したコメントの採否を審議した。	
10/12 (水)	10:00～ 16:00	WG1	幹事国: Germany(2) Canada(1)、China(6)、France(1)、 Japan(7)、Korea(5)、Norway(1)、UK(2)、 USA(1) 計26名	昌立製作所(1)、キッツ(1)、ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(2)、西部電機(1)、日本ギア工業(1)、事務局(1) 計7名
		Meeting	議事概要: ISO 5211(Part-turn actuator attachments: アクチュエータの接続)の改正及び中国と韓国が共同提案したNWIP(新規提案規格: 電動アクチュエータ)について検討を行った。この規格は、EN規格とGB規格を基にして作成することが合意された。	
10/13 (木)	09:00～ 12:00	WG1	幹事国: Germany(2) Canada(1)、China(7)、France(2)、 Japan(10)、Korea(6)、Norway(1)、UK(2)、 USA(2) 計33名	昌立製作所(1)、キッツ(2)、平田バルブ工業(1)、ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(2)、西部電機(1)、日本ギア工業(2)、事務局(1) 計10名
		Meeting	議事概要: 中国と韓国が共同提案したNWIP(新規提案規格: 電動アクチュエータ)及び韓国が新規提案したバルブ用ギアボックスについて検討を行った。また、次回の国際会議はバルブサミットに合わせてイタリアで開催することとなった。	
	18:00～	Welcome Dinner	Canada(1)、China(7)、France(2)、 Germany(2)、Japan(8)、Korea(7)、 Norway(1)、UK(3)、USA(2) 計33名	昌立製作所(1)、キッツ(2)、平田バルブ工業(1)、ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(2)、日本ギア工業(1)、事務局(1) 計8名

日にち	時間	内容	参加国(出席者数)	日本の出席者(出席者数)
10/14 (金)	09:30~ 16:00	TC153 Plenary Meeting	幹事国: France(2) Canada(1)、China(10)、Germany(2)、 Japan(9)、Korea(6)、Norway(1)、Spain(1) UK(2)、USA(2) 約36名	昌立製作所(1)、日本フルードパワー工業会 (1)、キッツ(1)、平田バルブ工業(1)、ペンテェア バルブアンドコントロールジャパン(3)、西部電機 (1)、事務局(1) 計9名
議事概要: 議長のMr.Popa(フランス)が欠席のため、フランスの出席者が代行した。TC153のリエゾンや、WG1、WG4、WG5、WG6、WG7、WG8が担当する規格の進捗について報告及び検討が行われた。次回のプレナリは2017年10月の第2週にドイツで開催されることとなった。				

(2) ISO/TC185 WG12国際会議

開催地: ドイツ (フランクフルト)

期間: 2016年9月12日(月)~13日(火)

出席者: 長谷川 千尋 氏 [(株) 福井製作所]

(3) IEC/TC65/SC65B/WG9 (工業プロセス用調節弁) 国際会議

開催地: イタリア (ミラノ)

期間: 2016年6月14日(火)~16日(木)

出席者: 奥津 良之 氏 [アズビル(株)]

6. 3 国際標準化協議会 構成員数 28名

2016年度は審議案件がなかったことから、協議会の開催はなかった。

7. 貿易振興対策の推進

経済産業省と共同で安全保障貿易管理制度説明会を開催した。(詳細は、8.4 に示す。)

その他の海外情報については、適宜、ウェブサイト等を通じて会員に提供した。

8. その他の事業

8. 1 新年賀詞交歓会の開催

本会主催の新年賀詞交歓会を開催した。

期 日: 2017年1月13日(金)

場 所: 八芳園

出席者: 149名(会員: 108名、来賓: 41名)

8. 2 若手社員研修会の開催

本会会員企業の若手社員を対象に、バルブ製品や業界の概要など、基礎的知識を授ける研修会を開催した。

前 期: 2016年7月7日(木)~7月8日(金)

後 期: 2016年8月4日(木)~8月5日(金)

参加者: 前期40名、後期41名

場 所: 機械振興会館

8. 3 次世代育成研修の開催

本会会員企業の間管理職社員を主対象に、日本ピラー工業株式会社の協力を得て開催。同社工場見学とシール製品の技術に関する講演、業務効率改善や製品開発に実績を残してきた同社ベテラン社員による講演を行った。

期 日：2016年11月22日（火）

参加者：21名

場 所：日本ピラー工業(株)三田工場

8. 4 安全保障貿易管理制度説明会の開催

安全保障貿易管理制度の重要性についての理解と、輸出管理体制のレベルアップを図るための説明会を開催した。

期 日：2017年1月19日（木）

参加者：28名

場 所：機械振興会館

①テーマ：「安全保障貿易管理について」

講 師：中村 啓子 氏

経済産業省 安全保障貿易審査課 上席安全保障貿易審査官

②テーマ：「法令遵守のポイント」

講 師：松本 正子 氏

経済産業省 安全保障貿易検査官室 上席安全保障貿易検査官

8. 5 JVMA輸出貿易管理セミナーの開催

安全保障貿易管理につき、焦点をよりバルブに特化させ、2016年度の省令改正のポイント、化学兵器製造関連資器材の規制概要、バルブの規制内容等をテーマとして、次のとおり開催した。

期 日：2017年2月23日（木）

参加者：40名

場 所：機械振興会館

講 師：藤井 弘史 氏

(株)日立製作所

(一財)安全保障貿易情報センター 生物・化学兵器製造装置分科会 主査

8. 6 技術研修会の開催

期 日：2017年3月7日（火）

場 所：機械振興会館

参加者：35名

テーマ：「利益と元気を出す道具の話～そうか そんな手があったのか～」

講 師：前古 護 氏

(株)アイデア 代表取締役社長

8. 7 Web版会報「JVMA通信」の発行

本会事業の進捗状況報告、並びに会議・行事等の開催状況をはじめ、関係官庁・団体からの通達事項、会員消息等を掲載した会報「JVMA通信」を、年4回（4月・7月・10月・1月）ウェブサイト上に公表し、会員並びに諸関係機関へ情報発信した。

8. 8 その他

会員数の状況（2016(平成28)年4月1日～2017(平成29)年3月31日）

	前年度期末	入 会	退 会	期 末
東京支部	53	0	0	53
東海支部	11	0	1	10
彦根支部	10	0	0	10
近畿支部	42	0	0	42
正 会 員	116	0	1	115
賛助会員	66	1	2	65

[入 会]

2016年4月1日付 （賛助会員）(株)ピワライト（彦根支部所属）

[退 会]

2016年4月1日付 （正会員）ジャニス工業(株)（東海支部所属）

2016年4月1日付 （賛助会員）(有)サンエース（東海支部所属）

2016年4月1日付 （賛助会員）新生鋳造(株)（近畿支部所属）

[社名変更]

2016年4月 旭有機材(株)（旧社名：旭有機材工業(株)／賛助会員・東京支部所属）

2016年11月 (株)TOA（旧社名：東亜パルプ工業(株)／正会員・近畿支部所属）

以上